

梅鶯仏教壮年会報

第87号
2011年
4月24日

去る三月二十一日に、会員十一名の参加のもと、平成二十二年度の梅鶯仏教壮年会が開催され、平成二十三年度の各種行事が左記の通り決定致しました。
会員の皆様の積極的な参加を願っております。

平成二十三年度行事予定

5月29日(日)	例会
7月31日(日)	例会
10月15日(土)	西本願寺大遠忌法要参拝
11月26日(土)	報恩講
12月31日(土)	竹灯籠除夜会
1月29日(日)	例会
3月31日(土)	役員会・総会

土と草

母さん知らぬ草の子を、
なん千万の草の子を、
土はひとりで育てます。
草があおあお茂ったら、
土はかくれてしまうのに。

金子みすゞ

ミャンマー(旧ビルマ)の仏跡を訪ねて⑦

副会長 森 勝昭

3月1日(四日) 前号のつづき



四面座仏

ミャンマー(旧ビルマ)の仏跡を訪ねて⑦
古都バグーへ、四面座仏の高き30メートルぐらいい・東・西・南・北の美しい仏像に圧倒されます。ヤンゴン(ラングーン)はイギリスの植民地で首都となり経済的に発展し、2500年以上の歴史をもっています。あちこちに建っています。ゴダ(仏塔)が輝くシュエタゴンパトルの黄金の中から眺めはビルマ仏教の信仰の深さやビルマ人の心の象徴とされ、家族揃って多くの参拝者で、まるで祭りのようににぎわっています。映画でおなじみの「ビルマの竖琴」のワンシーンに出てきます。コダよりもさらに大きい、全長70メートルに及ぶ巨大な寝釈迦仏を参拝しました。



寝釈迦仏

これらの人々には小さい頃から、学び、それが今日まで続いています。日本もかつてはこのような風景や教えがあったと思います。大事な責任があります。夕食は船上レストランで民族舞踏を鑑賞しながらバイキング、象さん、ビール(発泡酒より少し上)がまたうまい！最後の夜を過ごします。今までの4日間、ホテルでの同室だった方は、近江八幡から来られた日本の名工と呼ばれておられます。奈良の薬師寺金堂の再建にたずさわった方で、国内から何人かの宮大工さんが選ばれ、5年掛けて復興されたそうです。地元はもちろん九州や関東方面でお寺や宮さんの建築に飛び回っておられます。かつては、この薬師寺金堂復興にまつわる話で、NHKのプロジェクト1年に映画「火天の城」(かてんのしろ)安土城築城にたずさわった主人公役の西田敏行さんや出演者に宮大工として演技指導されたそうです。

1001

